

アルバートロスAK

進化する足場

asahikizai.com

平成27年改正
安衛則対応

認定合格品
仮設構造等承認
仮設工業会 単品仮設機材等承認



朝日機材株式会社

本店 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3(大手センタービル)
大阪支店 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島6-2-40(中之島インテス)
北海道支店 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西5-2-9(北一条三井ビルディング)
東北支店 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-4-33(仙台定禅寺ビル)
名古屋支店 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-2-13(名古屋センタービル)
広島支店 〒730-0015 広島県広島市中区橋本町10-10(広島インテス)
九州支店 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-8-22(天神偕成ビル)

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

製造元 **ALINCO**

ver.1.2

進化する足場

Feature

安全と施工性の追求によって生み出された新発想の足場。
安全性・作業性・拡張性はもちろん
耐久性や信頼性にも優れたアルバトロスAK。
現場の工期短縮とトータルコストダウンを実現します。



安全性

高強度、高信頼性の緊結部

8mm厚のプレートと白心可鍛鉄の布材金具

くさびは2～3回の打込みで十分な緊結力が発揮され、また振動などの予測外の力にも強い構造です。

布材のコの字金具には靱性に優れた白心可鍛鉄を採用。緊結力、耐久性、施工性にベストな形状が実現されました。



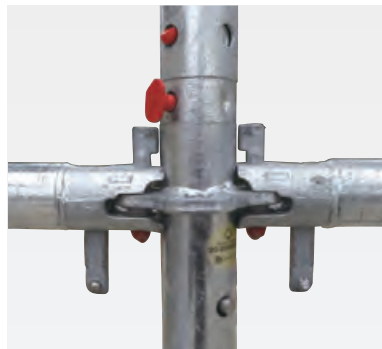
安全性

頑丈設計。経年使用にも安心

繰返し使用による摩耗に強く、
長年使っても安心の設計

アルバトロスAKの緊結部は経年使用で繰返し使っても必要な緊結強度が維持されるように設計されています。

強靱さだけでなく耐摩耗性能も要求されるプレートは8mm厚を採用。
曲がりにくく耐久性も向上しました。



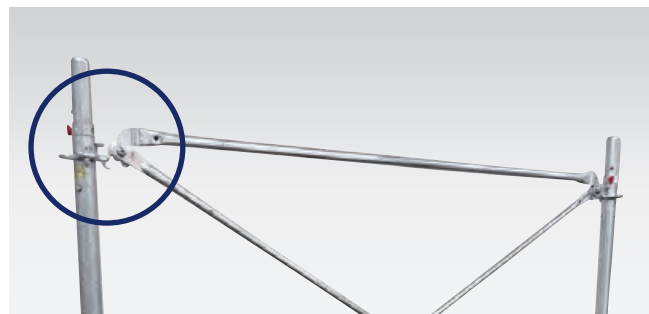
安全性

より強固に進化

先行手すりと支柱の緊結を、より強固に揺れ止め材を追加し、
より揺れにくい構造へ

先行手すりに揺れ止め材を追加することにより、支柱への設置面積を増やし、組立・解体作業時により揺れにくい安心感のある足場へ進化しました。

作業者の不安が軽減されることにより、作業性の向上にも繋がります。



作業性

部材は軽量・コンパクト

軽量・省スペースで現場の効率化、輸送コストも削減

支柱は建枠に比べコンパクトな形状。
組立・解体時の仮置きも小さなスペースで可能です。

幅をとる部材がないため、マンホールや仕上げの狭い戸口からの出し入れが容易です。

枠組足場の手すり先行工法と比べ
単位面積当たりの重量は大幅減。
輸送コストの削減が図れます。



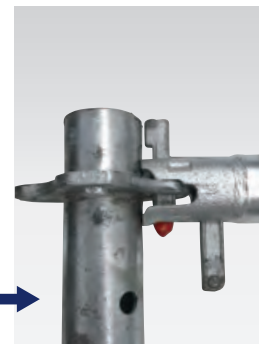
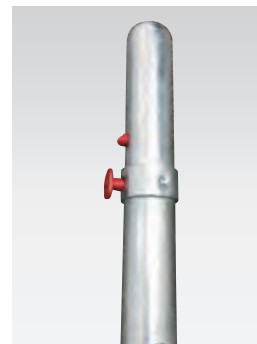
安全性

安全の見える化

ロック状態、くさびの叩き忘れを目視で確認

支柱、布材、先行手すりなどのロック部や緊結部をカラーリングすることで、足場点検時に目視でチェックすることが可能です。

より安全性を意識したデザインで現場に安心を提供します。



安全性

手すり先行工法が標準仕様・標準工法 (改正安衛則適合品)

先行手すりが標準部材。効率的に安全工法が守られます

従来の枠組足場と異なり、先行手すりが標準部材となっており、筋かいの機能も有しています。作業効率に優れた手すり先行工法が高い安全性を約束します。

工事内容に応じ、布材を手すり、中さんとして建物側に設置することも可能です。



作業性

枠組足場の簡単さと単管足場の自由さ

簡単手順で組み方自由自在

建地から布・コロバシは四方に伸ばせますので入隅・出隅の多い躯体にも枠組足場のように縁を切ることなく、X方向・Y方向に足場を連続させたまま設置することが可能です。

建地(支柱)と布・コロバシはくさびの打込みによりしっかりと緊結されます。ラチェットレンチでの大量のクランプ締めが必要だった単管足場と比べ工数大幅に削減されます。

GLでレベルと通りを出せば後は枠組足場のように手順通り組立てるだけ。単管足場のように継ぎ足すパイプの長さを考えたり、各層ごとにレベル・鉛直を調整する必要がありません。



作業性

施工性大幅アップで作業コスト削減

架設・解体作業がスピードアップ

効率的で安全な手すり先行工法が標準仕様なため、先行手すりと筋かいの取り付けが同時にできます。

組立時はもちろん、解体時に特に大きな工数削減が実現されます。

基準層の支柱は2層分高さのL3600mmタイプもあります。

拡張性

アルバトロスAK

安全性

作業性

多目的+3D

内部・移動式・構台・曲面・支保工

Multi-purpose

アルバトロスAKは手すり先行工法の安全な足場というだけでなく、工事・工法の多彩な要望に同じ部材で多様に応えることができます。もちろん組立て解体は手すり先行工法。安全と効率化の両立が図れます。

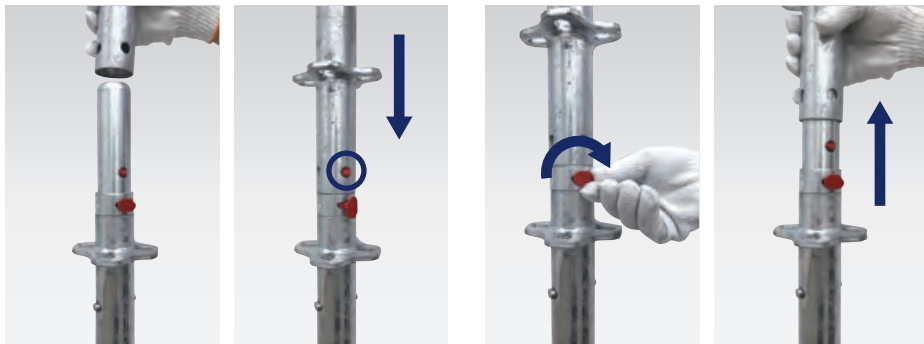


自動ロック方式

連結ピンに支柱を被せるだけで、自動にロックが掛かります。

ロックを掛ける工数を削減し作業性を向上させました。

また、ロック部をカラーリングしているため、点検作業も簡単に行えます。



〈解除方法〉押しながら横に倒す

広い作業スペースの
快適空間を提供内側に邪魔な補強がなく、
1層高さは1800mm

1層の高さは1800mm。男女含めた日本人の体格に最も適した高さです。通行と建物の施工作業の両方に快適な環境を提供します。もちろん足場の組立・解体にも最適の高さです。

足場内部に補強がないため900幅で枠組足場1200幅と同じ広さの感覚。



単管・クランプを大幅に削減

単管足場はもちろん、従来の枠組足場では3次元的な構造や曲面への対応は、枠組の各列をつないで一体とするために大量の単管とクランプが必要でした。

アルバトロスAKの3次元構造は布材と先行手すりを支柱プレートの直交方向に取り付けていくだけ。単管とクランプを大幅に減らせるとともに、組み手間も大きく減らすことができます。

※ 計画や組み立てにあたっては各用途の組立基準・使用基準に従って正しく行ってください。
また必要に応じて強度計算を行い、安全性を確認して設置してください。

大平面の移動式ステージも簡単

従来は軽天作業台を連結して行っていた天井の設備工事や仕上げ作業にも使用可能。軽天作業台の届かない高さにも縦横必要なサイズに合わせて組立てできます。

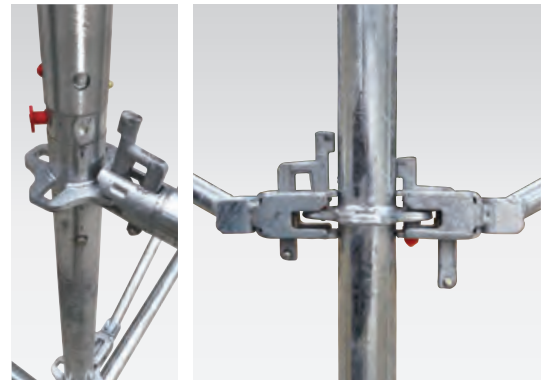
全ての部材はコンパクトサイズで小さな部屋内の作業にも適し、解体した部材の搬出は乗用エレベーターでも簡単です。



くさび保持機構で作業性を向上

布材のくさびを上がった状態で保持できる機構にすることで、組立・解体作業の効率を向上させました。

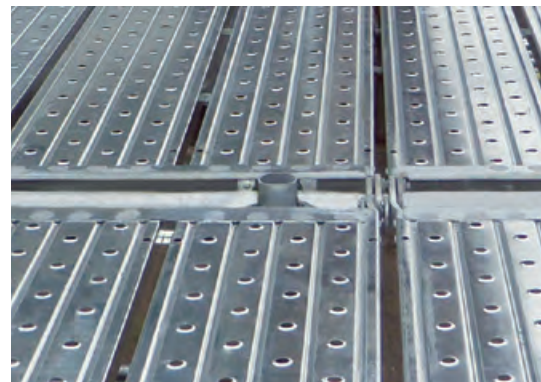
くさびを上げた状態で、コの字金具をプレートにはめ込みくさびを叩くだけで設置完了です。

突起や隙間のないワイドなステージが簡単に
支柱の連結ピンはワンタッチで取外し可能

床付き布枠は支柱部をまたいで掛けることができ、突起や隙間のない広いステージが簡単に設置できます。

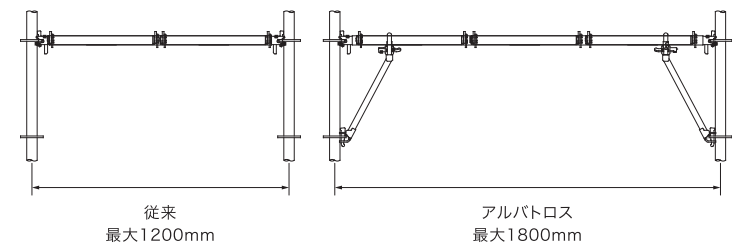
支保工として使うときは大引受ジャッキを直接挿入することが可能です。

ステージの外周には先行手すり・二段手すりが簡単に取付けられます。



従来の棚足場(ステージ)は足場板を掛けるコロバシ材(腕木)は1200mmまでしか使えませんでした。オプション材の強化方づえを使用すると最大1800mmまで可能になります。

支柱や布材等、部材の節約になるとともに組み手間も大きく削減できます。



マルチパーパス

支柱、布材、先行手すり、この3種類の基本部材の組合せと、それに若干のオプション材・周辺機材を組合せるだけで、実に多様な目的に使うことが可能です。

作業目的の足場、ステージとしてはもちろん、同じ部材で荷受構台や支保工と、現場の工程・局面に応じ多目的に使えます。



3次元的組立

アルバトロスAKの枠組足場と異なる大きな特長、それは支柱を中心に、布材、先行手すり、布板を90度毎に4方向に組み立てていくことができることにあります。さらには縁を切ることなく曲面に対応できる専用部材もあり今までに考えられなかった足場へと発想を広げることができます。

先行手すりを兼ねた筋かいがX・Y両方向に取り付けられことによって、立体的で安定した構造を自由な寸法で組み立てることが可能です。



作業スペース下に大きな空間の確保が簡単

アルバトロスAKには梁枠、荷重受け梁や強化方づえを用いて必要な場所に作業ステージを設け、下部空間にスペースを設け通路や材料置き場等に使うための機材が豊富です。

足場の構成

基本部材

Structure

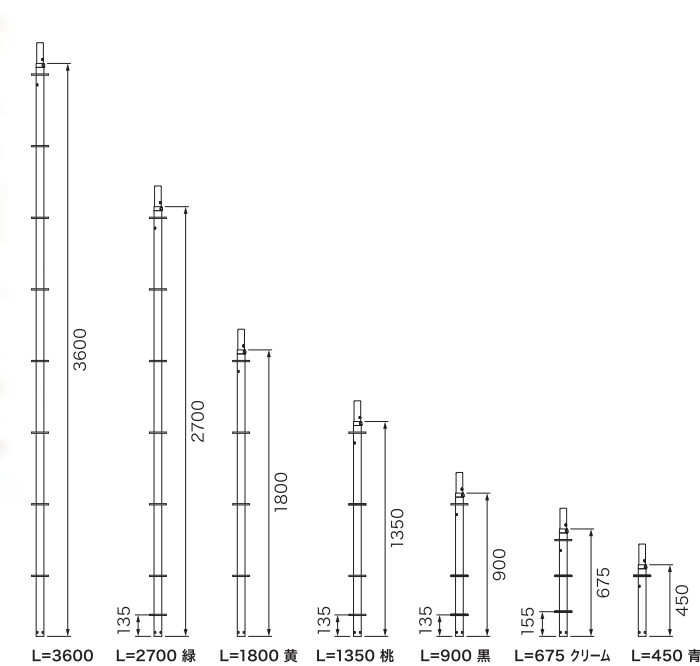


■ 本足場時の積載荷重(標準組みの場合)

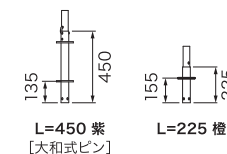
1層1スパンあたり	
同じ層での積載が連続スパンになる場合	250kg
同じ層での積載が連続スパンにならない場合	400kg

- 足場の幅600mmの場合、500幅の床付き布杵を使用すること
 - 同一スパン内の積載は2層までとする
 - 積載荷重は積載する床付き布杵の許容荷重を超えないこと
- 梁杵で構成された開口部上方の足場の全積載荷重は800kgまでとする
 - 足場には最大積載荷重を表示すること

■ 支柱



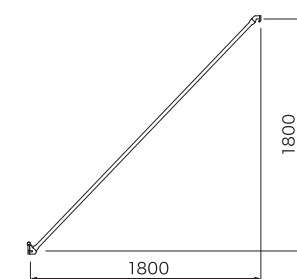
■ 根がらみ支柱



品 名	質量(kg)
L=450 紫 [大和式ピン]	2.4
L=225 橙	1.4

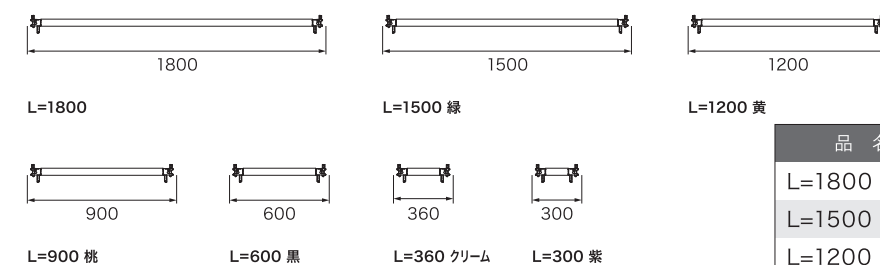
品 名	質量(kg)
L=3600	12.6
L=2700 緑	10.1
L=1800 黄	6.7
L=1350 桃	5.5
L=900 黒	4.0
L=675 クリーム	3.4
L=450 青	2.2

■ 階段手すり



品 名	質量(kg)
階段手すり	3.3

■ 布 材

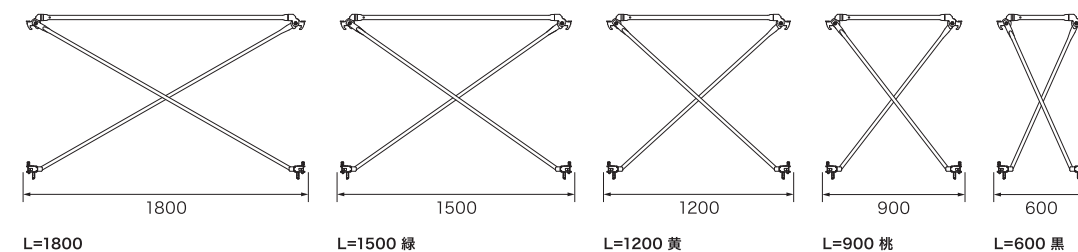


■ つなぎ材



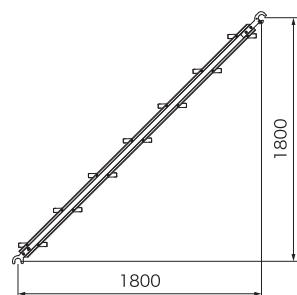
品 名	質量(kg)
L=1800	4.6
L=1500 緑	3.9
L=1200 黄	3.2
L=900 桃	2.5
L=600 黒	1.9
L=360 クリーム	1.3
L=300 紫	1.2
つなぎ材 青	0.5

■ 先行手すり



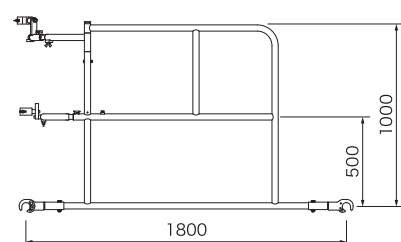
品 名	質量(kg)
L=1800	7.3
L=1500 緑	6.4
L=1200 黄	5.6
L=900 桃	4.8
L=600 黒	4.2

■ アルミ階段



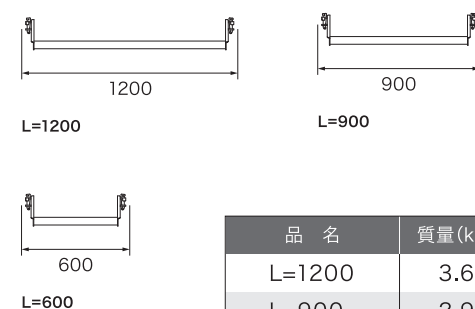
型 式	質量(kg)
ALKM18AU	12.1

■ 階段開口部手摺杵



品 名	質量(kg)
アルミ階段開口部手摺杵	8.5

■ 階段受け



品 名	質量(kg)
L=1200	3.6
L=900	2.9
L=600	2.2

足場の構成

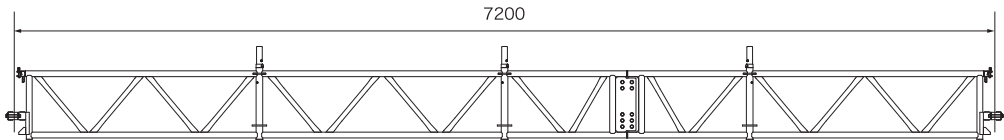
周辺部材

Peripherals

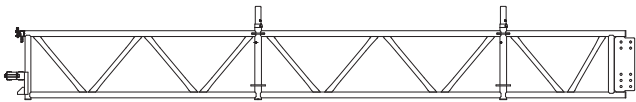
実際の現場で実用的な足場を設置するためには、基本部材のみだけではなく、多様なニーズに応じる豊富な周辺部材が必要です。アルパトロスAKには、枠組足場を上回る豊富な種類の周辺部材があります。もちろん安全や強度に関わる部材は、仮設工業会の認定や承認を取得済み。明日からでもすぐに実用的な足場の設置が可能です。

■ 梁 枳

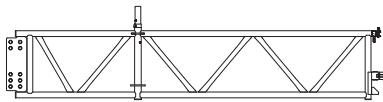
梁枳は布材と同じように支柱プレートに直接緊結。隅梁受けや梁渡しは不要です。梁枳には支柱を挿すことが可能で手すりも簡単に取付けられます。梁枳はスパン方向のみでなく、梁間方向にも取り付け可能。外部足場の開口だけでなく棚足場や安全通路にも用途が広がります。



4スパンはりわく



4スパンはりわく 長

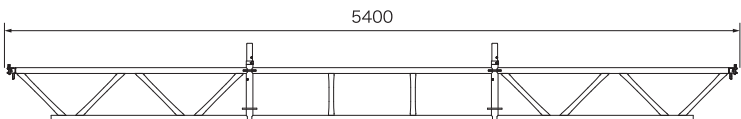


4スパンはりわく 短

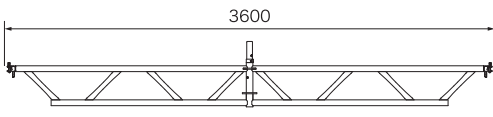
品 名	質量(kg)
4スパンはりわく 長	44.3
4スパンはりわく 短	29.3

連結用パーツ	
専用ボルト	ワッシャー
専用ロックナット	スプリングワッシャー

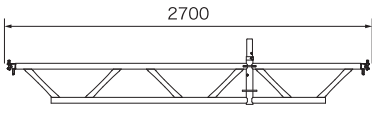
※出荷時、4スパンはりわく 長、4スパンはりわく 短に分割されて出荷。連結用パーツは4スパンはりわく 短に付属。



3スパンはりわく



2スパンはりわく

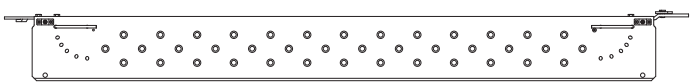


1.5スパンはりわく

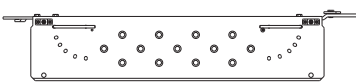
品 名	質量(kg)
3スパンはりわく	37.6
2スパンはりわく	22.8
1.5スパンはりわく	17.4

※梁枳を設置する場合は必ず組立基準・使用基準をお読みください。

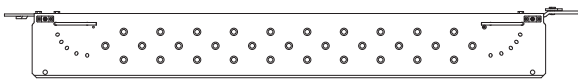
■ 布板隙間塞ぎ板



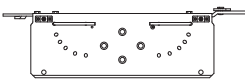
L=1800



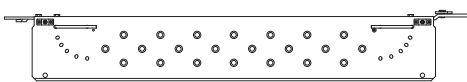
L=900 桃



L=1500 緑



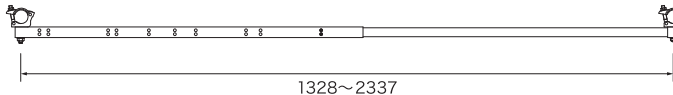
L=600 黒



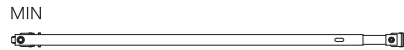
L=1200 黄

品 名	質量(kg)
L=1800	4.8
L=1500 緑	4.1
L=1200 黄	3.5
L=900 桃	2.8
L=600 黒	2.0

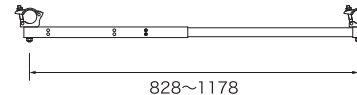
■ 伸縮斜材



MAX



JSBL



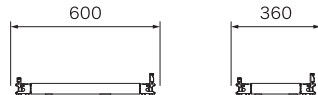
MAX



JSBS

型 式	質量(kg)
JSBL	5.3
JSBS	3.3

■ 先端くさびブラケット



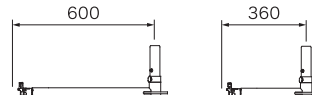
L=600



L=360

品 名	質量(kg)
L=600	2.7
L=360	2.1

■ 先端ピンブラケット



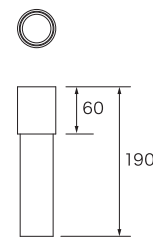
L=600



L=360

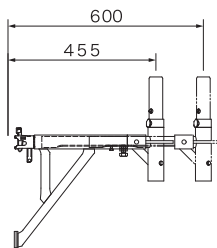
品 名	質量(kg)
L=600	4.0
L=360	3.3

■ 大引受ジャッキかさ上げ金具 (調整用)



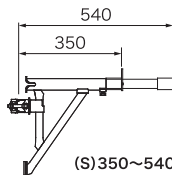
型 式	質量(kg)
JPL60	0.64

■ 先端ピン伸縮ブラケット

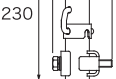
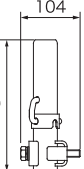
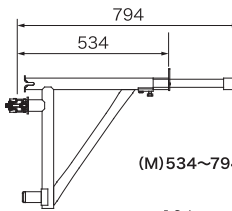


型 式	質量(kg)
455~600	4.6

■ 兼用伸縮ブラケット



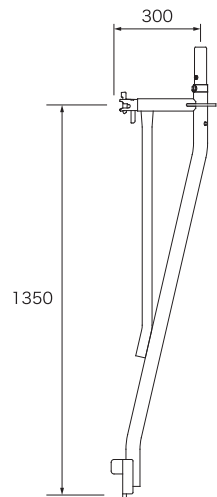
(S)350~540



型 式	質量(kg)
(L) 810~1070	7.8
(M) 534~794	6.5
(S) 350~540	3.4

品 名	質量(kg)
先端ピン	1.1

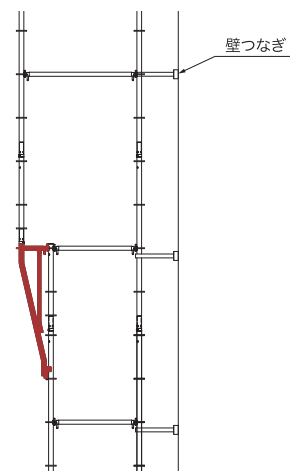
■ 拡幅狭幅兼用ブラケット



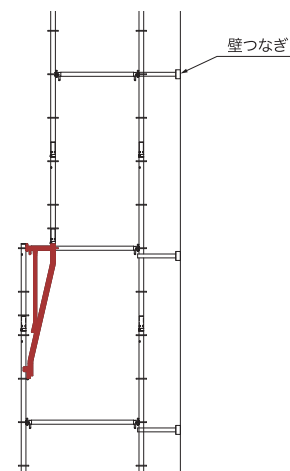
品 名	質量(kg)
拡幅狭幅用ブラケット	8.3

■ 拡幅狭幅兼用ブラケットの使用例

拡幅としての使用時



狭幅としての使用時



拡幅狭幅兼用ブラケットは独自の発想により1種類で拡幅と狭幅のどちらにも使用可能。従来のくさび緊結足場の拡幅は下からの支柱をそのまま拡幅上にも伸ばす必要がありましたが、アルパトロスAKの拡幅狭幅兼用ブラケットは、拡幅された足場を幅いっぱい有効に使うことができます。もちろん単管・クランプの追加補強も不要です。

※拡幅狭幅兼用ブラケットをコーナーの支柱に2方向に取り付けることはできません。

進化する足場

拡張性

アルバトロスAK

安全性

作業性

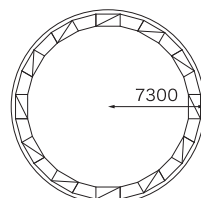
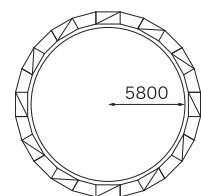
多彩な

拡張性

Augmentability

アルバトロスAKの大きな特長は、その拡張性と発展性にあります。シンプルで基本システムだからこそ、現場の多様なニーズへの拡張・発展が可能です。

LNGタンクに設置したアルバトロスAKの円形足場。専用の円形足場用先行手すり、伸縮手すりをを用いることによって全て手すり先行工法で組立解体が可能。



最小設置可能直径(m)	
タンク外径	11.6
タンク内径	14.6

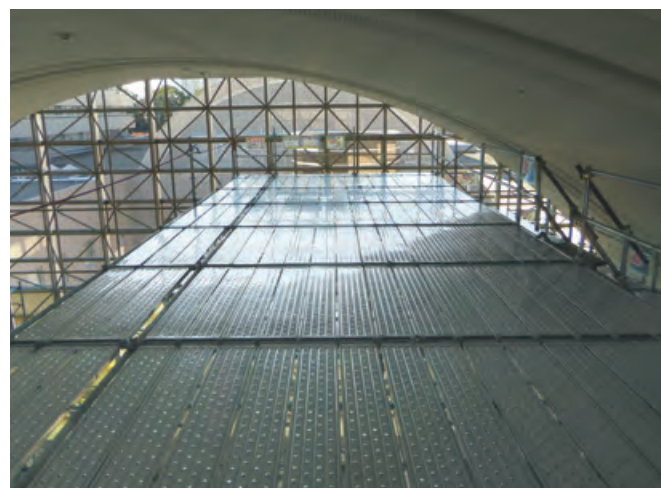


アルバトロスAKの支保工。

くさび式の専用システム支保工と同様にX・Y方向に自由なピッチで割り付け可能。さらに支保工も安全な手すり先行工法で組立・解体が可能に。



アルバトロスAKの支柱は連結ピンを取り外すとステージがフラットに。また、支柱プレートを開いて床付き布わくを敷設できるので、隙間のない設置が可能。



※写真は組立て作業中

※ 一部試験施工の内容を含みます。



拡張性

強化方づえを使ってさらに多様なニーズに対応

独自の発想のマルチな部材。くさび緊結式足場の弱点であった梁間方向の剛性を大幅にアップさせ支柱の座屈強度を上げることができ、揺れや水平力にも強くなります。

コンパクトな形状でも支柱の許容支持力を大幅アップ!! (本足場・両面先行手すり)

強化方づえは支柱と布材を同時に簡単に補強できる独自の専用機材です。

棚足場(ステージ)の腕木の補強のみならず、強化方づえを取り付けることで支柱の座屈強度を大幅にアップすることが出来ます。しかも取り付けはハンマー1本でワンタッチ後付け可能。

床付き布枠の掛かった状態でも簡単に取り付けでき、必要な部分、必要な期間だけ強化を行うことが可能です。足場の部分的補強、通行しやすい支保工、棚足場、ローリングタワー、さらには50~60m超えの超高層足場の支柱補強と多彩なニーズに応えることができます。

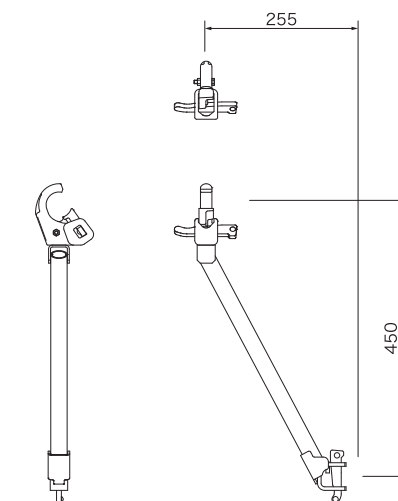


腕木強化の荷重試験



支柱強化の荷重試験

強化方づえ



通常の布材に後から取り付け可能、床付き布枠の掛かった状態でも簡単に取り付けられます。

型 式	質量(kg)
JAS	1.5



床付き布枠を掛けた状態でもハンマー1本で簡単に着脱可能

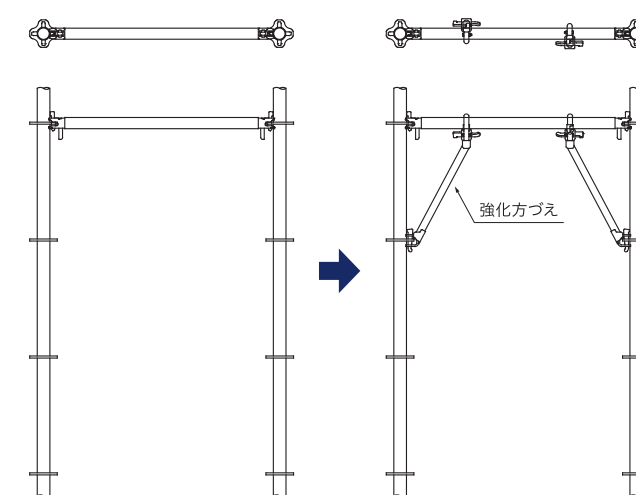
1 高層足場で部分的な補強が必要な場合も強化方づえで簡単に支柱強化。 仮設工業会システム承認

地上よりの最上部が31mを超えた場合、従来は超えた高さ分の足場下層部を単管・クランプで2本組にする面倒で邪魔な補強が必須でした。これが、平成27年7月1日の労働安全衛生規則改正により、支柱が強度を有する場合は組上げられる高さ特に制限がなくなりました。

アルバトロスAKは1支柱の許容座屈強度が強く、基本部材のみで構成される通常スパン部は支柱の補強なしで45m以上の足場設置が可能です。*

ただし、梁枠開口を支持する支柱や階段設置部、荷受けフォーム等の取り付け部は部分的に支柱の強化が必要になります。アルバトロスAKは強化方づえの取り付けにより簡単にこの補強を行うことが可能です。しかも床付き布枠を掛けた状態でも簡単に取り付け可能ですので、RC・SRC新築工事等では躯体の進捗に応じて必要な時点からの取り付けも可能で経済的にも優れます。

見た目もすっきりし、メッシュシートや壁つなぎを既に取り付けた支柱でも簡単に取り付けられ、コンパクトな形状で600mm幅の足場でも通行に支障をきたしません。1種類の強化方づえで全ての足場幅に取り付けできるので便利うえ、在庫負担も少なくすみます。



※ 使用する機材・足場の組立方法及び、積載荷重の条件によって変動するため目安となります。

単位:mm

2 棚足場

縦横自由自在。立体的に組める自由がもう一つのメリットです。

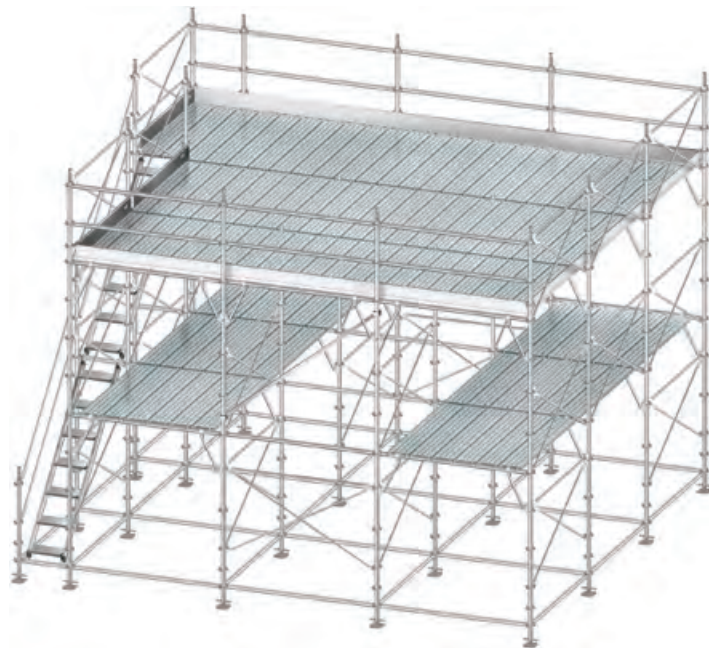
ステージングを置く場合に枠組足場の建枠は1方向にしか組み進められないため、梁間方向は単管・クランプで連結するしかありませんでした。

アルバトロスAKは90度4方向に布材や先行手すりを取り付けられるため立体的な組立てに優れます。

もちろん単管・クランプの大筋かいは不要です。

さらにはアルバトロスAKの支柱は450mmピッチでプレートがあり、その任意の高さで腕木を取り付けることができます。

このことにより布材、先行手すりを4方向に組み立てられるとともに、内部足場の作業床のレベルを屋根や天井の形状に合わせて雑壇状に設置することが可能になります。



3 構台

アルバトロスAKは荷受構台を足場と連結させて設置可能です。

物流倉庫等の屋根材フォーミング機の据え付けや、フォークリフト用の荷受構台としても十分な能力があります。

※ アルバトロスAKの構台には移動式クレーンやハイユニクレーン等のブームを有する揚重機器の設置はできません。

構台の天端の高さをスラブレベルに合せ、フォークリフト用の荷受構台とした例。

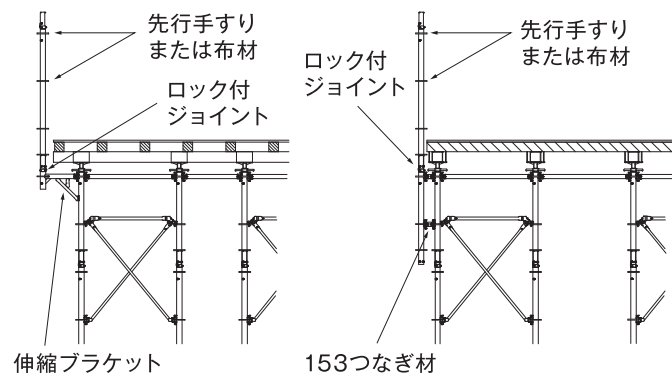
構台床の敷鉄板の大引として100角鋼管を利用。

全ての支柱に大引受ジャッキを装着しても、外周部には支柱・布材で手すりを設置することが可能です。

支柱の設置ピッチや床材、天端の大引・根太の種類を変えることによって軽量級から中量級まで目的用途に応じた多彩な構台をつくる事が可能です。

しかも、つなぎの単管やクランプはほとんど不要ですので組立作業も効率的です。

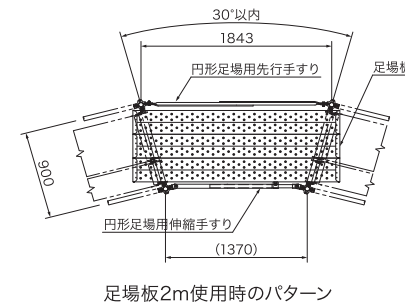
アルバトロスのステージ天端手すり



物流倉庫工事でスラブにレベルを合せて設置したフォークリフト用の荷受構台。敷鉄板敷設。
大引受ジャッキを使用しても外周に手すりを簡単に設置することが可能。

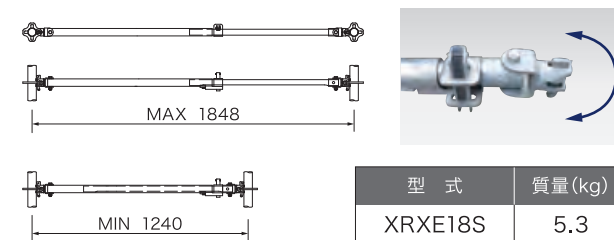
4 アルバトロスAK曲線対応システム

単管・クランプを全く使用せずに、円形タンクの外部・内部、Rのあるデザインの建物に連続した足場の設置が可能です。見た目もすっきり美しく、メッシュシートも1.8mタイプが隙間なく張れます。曲線部も、もちろん手すり先行工法で安全に組立・解体作業が行えます。



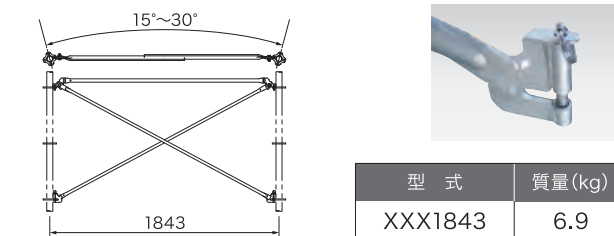
円形足場用伸縮手すり 仮設工業会認定品

両端回転式くさび緊結金具・伸縮もくさびでワンタッチロック。角度は30°内で自在に調節可能



円形足場用先行手すり 仮設工業会単品承認

直線部用と同じ形状で見た目もすっきり。メッシュシートもきれいに張れます。角度は30°内で自在に調節可能



5 ローリングタワーももちろん手すり先行工法。枠組式ローリングでは不可能なワイドなタワーも可能です。

強化方づえを使えば安定性に優れたワイドなローリングタワーをつくることも可能です。最大1800mm幅まで可能で、しかもアルバトロスAKローリングタワーは従来型のローリングタワーの一番の弱点であった組立・解体時の墜落リスクの回避、安全帯取り付けの対策も、安全・簡単な手すり先行工法で簡単に解決できます。

※ 強化方づえは全層又は最上層の腕木への取り付けが必要です。

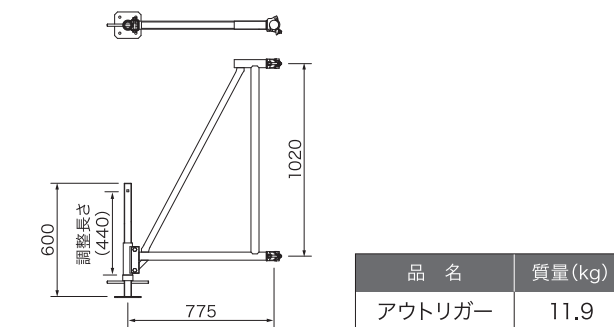


ワイドな1.8m x 1.8mのローリングタワー

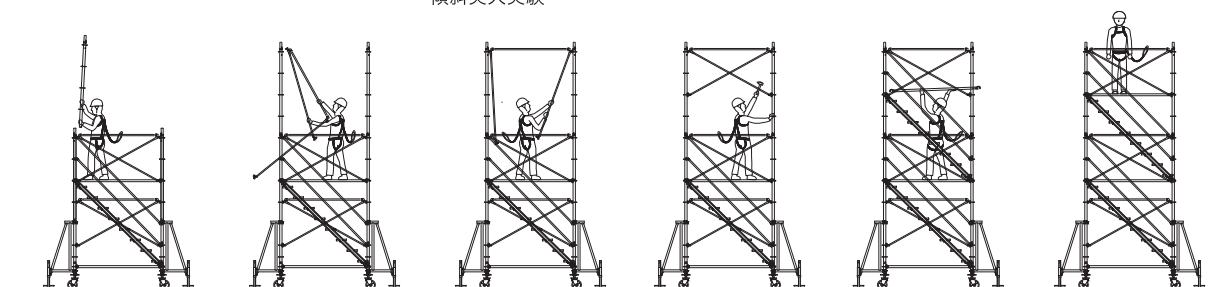
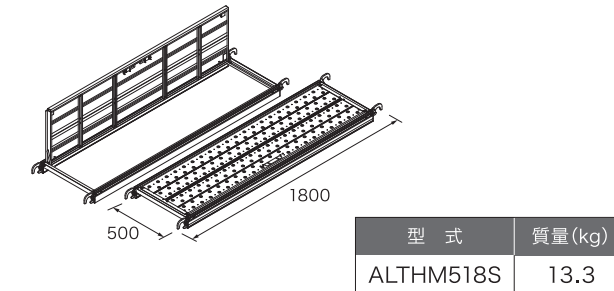


ローリングタワー使用時の安定性検証
傾斜実大実験

アウトリガー



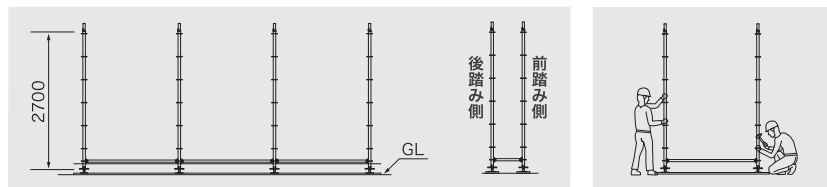
全開閉式床付き布わく 仮設工業会認定品



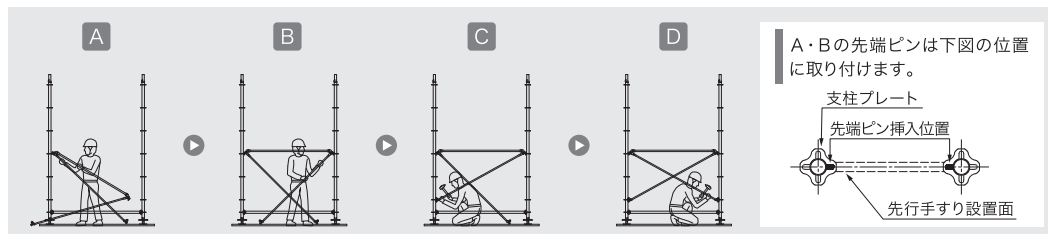
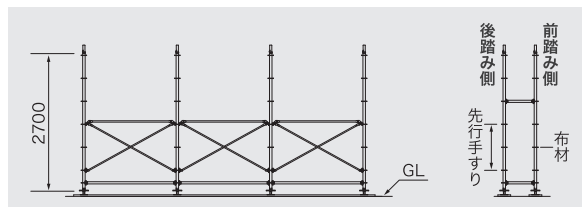
足場の組立

足場基底部・1層目

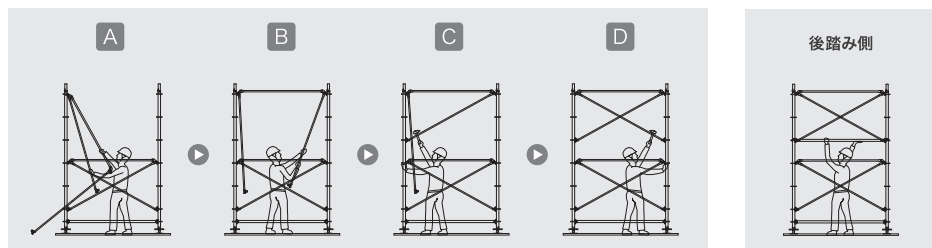
- 敷板の設置**
基礎の支持力が十分であることを確認します。
- ジャッキベースの配置**
敷板に釘等で固定します。
- 支柱の設置**
最下層の支柱は根がらみプレートのある2700、1350、900を使用します。
- 根がらみ(布材)の設置**
布材を軽く打ち込み水平器でレベルを調節します。
緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。



2 足場の後踏み側の桁面に先行手すりを設置



3 足場の後踏み側の桁面に2層目の先行手すりを設置 緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。



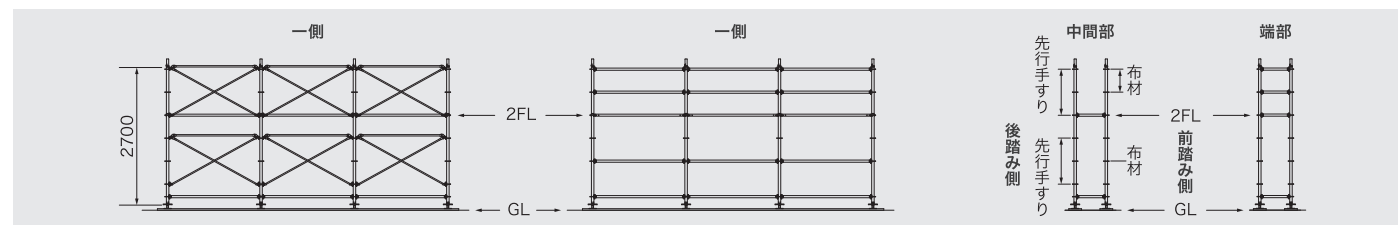
安衛則改正により31メートル以上の足場も2本組み不要に

平成27年7月1日に新しい労働安全衛生規則が施行されました。この改正により従来の制約条件であった「強度の有無に関わらず、高さ31mを超える単管(類の)足場は最高部から31mを超える部分を必ず二本組みにしなければならない」基準が緩和され、それぞれの足場の実験データに基づく支柱許容荷重に応じて、可能な高さまで組めることになりました。

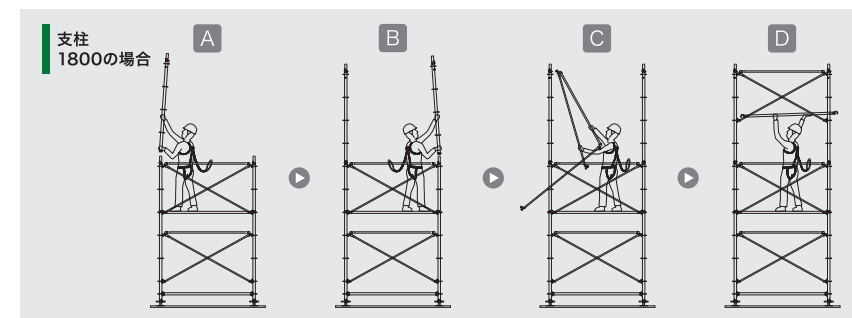
足場条件により差異はありますが、アルバトロスAKは支柱の補強なしで45m以上の足場の設置が可能です。また、自重の大きくなる梁枠開口部や荷受けフォーム等の部分は簡単に後付けできる強化方づえで必要な部分、必要な期間のみ強化することが可能です。

2層目

- 2層目足場の前踏み側の桁面の布材設置**
緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。
2層目の組立てが終了した時点で最初の壁つなぎを取付けてください。 ※壁つなぎについては風荷重の算定に従い適正に設置してください。



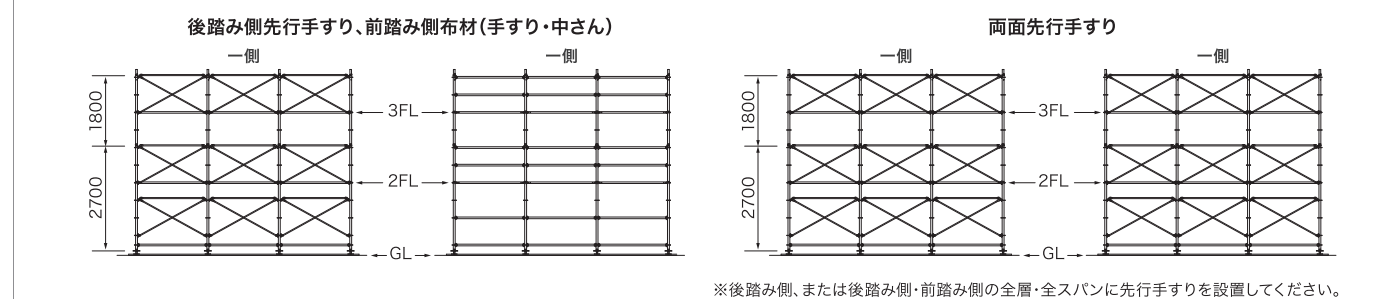
- 3層目分の支柱設置**
支柱は1800または3600を使用します。
抜け止めを正しくロックします。
- 足場の外側面に3層目の先行手すりを設置**
- 3層目の床付き布枠の設置**
緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。



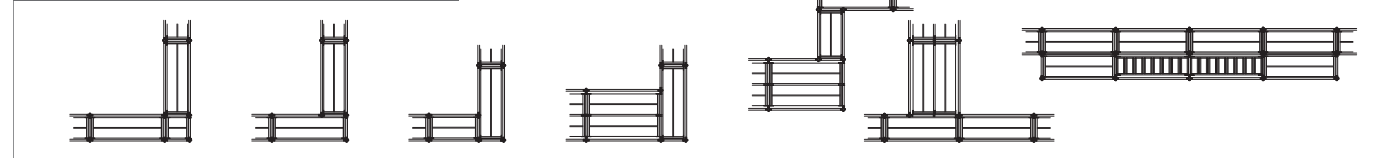
3層目以上

- 3層目以上の足場の組立は、作業手順 5・6 の繰り返しとなります。 ●解体は作業手順を逆に行います。

外部足場の標準的な設置方法



コーナー部・入り隅・出隅の割付参考例



- 各システムの設置・使用方法に関しては各組立基準、使用基準を参照してください。
- 一般事項については仮設工業会「くさび緊結式足場の組み立て及び使用に関する技術基準」に従ってください。
- 足場板は支柱との距離が12cm未満になるように配置して固定してください。
- 風荷重については通常の足場と同様にご計算ください。
- 法規上は本製品はその他鋼管足場(単管足場)に分類されます。
- 計画・設計、強度計算、その他の技術的なお問い合わせは弊社各支店までお問い合わせください。

製品の仕様・外観については予告なく変更する場合があります。

労働安全衛生規則 第五百七十一条

三 建地の最高部から測って三十一メートルを超える部分の建地は、鋼管を二本組とすること。ただし、建地の下端に作用する設計荷重(足場の重量に相当する荷重に、作業床の最大積載荷重を加えた荷重をいう。)が当該建地の最大使用荷重(当該建地の破壊に至る荷重の二分の一以下の荷重をいう。)を超えないときは、この限りでない。

厚生労働省 労働基準局長 基発0331第9号7 第571条関係について (3) 抜粋

また、鋼管にフランジ、フック等の緊結部を溶接することにより、緊結金具を使用せずに組み立てることができる単管足場では、当該足場を組み立てた状態での支持力試験を実施した結果から、建地に破壊に至る荷重の2分の1以下の荷重を許容支持力として示されており、これを最大使用荷重として用いて差し支えないこと。この場合、布材、補剛材等の使用条件に応じて支持力結果が異なることから、当該布材、補剛材等の使用条件に応じた最大許容荷重を用いること。